

な あ ぜ ? (三)

東京女子高等師範學校附屬國民學校主事

堀 七 藏

39、河馬と象はどちらが強いか

サアどちらが強いでせうか、中々分りませんね。河馬も象も喧嘩させた人もなくお相撲をこらせることも出来ませんからどちらが強いか、見當がつきませんよ。象は陸上にある河馬のやうに水中にもぐるこゝが出来ますまい。河馬は呼吸をするために鼻の孔だけ水面に出して水中にもぐつてゐるこゝが出来ますが象にはそれが全く出来ません。それから河馬は象の如く鼻でいろ／＼のこゝが出来ません。兎に角、象も河馬もお相撲をこらせるこゝ面白く思はれませんが實際には中々お相撲をこらせるこゝが出来ません。無論喧嘩させるこゝも出来ません。それで河馬が強いか、象が強いか、全く見當がつきません。

40、蛇はなぜ蛙が好きか

蛇にさうして蛙がすきか尋ねても答へません。尤も蛇が蛙をすきか、さうかも分りません。只蛇が蛙を食ふからすきなのであらうと思はれるだけでせう。蛇は蛙を食ふのですが、鼠の如きものでも多く食ふのであります。蛙さか

鼠の如き小さな動物を蛇は食つてゐるのです。鼠でも蛙でも蛇が食ふのにはよいでせう。蛇が龜なきを食はふこしても堅い甲羅がありますから都合が悪いでせうし、魚やえび、かにの如きものを蛇が捕つて食はふこしても、是等が水中に棲んでゐるから捕へるこゝが出来ないでせう。蛇がさんぼなきをこるこゝも出来ないでせう。しかし蛇は鶏の卵や雛でも雀の子や卵なごのやうなものならばよく捕へてのむのです。

41、金魚は夜寝ますか

金魚でも鯉でもねむりますが人間がねるやうな仕方はありません。また牛や馬がねむるのこも異なります。金魚でも鯉でもジツと動かないでゐるさきにねむるのでせう。夜もか晝さかの區別はないやうです。

42、動物だとかげものとかどうしていふのか

草木もちがつて動くから動く物といふわけで動物といふのです。毛が生へてゐるから毛物といふのでせう。

43、蟹はなぜ横に歩くか

蟹の脚はどんな工合になつてゐますか。そして脚の節がどんなになつてゐますか。またどんな工合に體についてゐるか、氣をつけて御覽なさい。するゝ蟹が横に歩くより他に方法がないこゝがよく分りませう。

44、犬はなぜ赤ちやんを澤山産むか

犬ばかりでなく、猫でも鼠でも兎でも一度に澤山の赤ちやんを産むのですよ。牛や馬の如き大きなものは一度に一匹だけしか赤ちやんを産みません。人間も一度に一人の赤ちやんを産むのが普通です。しかし時に雙子や三つ子が生れるこゝもありません。犬はなぜ赤ちやんを澤山産むかといふ理窟は中々分りませぬね。

45、紅葉の葉はなぜ赤ちやんのお手々の様なのか

何ぜ〜、ミ理窟をこねてもそれは分りませぬね。紅葉の葉は自然に赤ちやんのお手々のやうな形をしてゐるので。丁度八ツ手の葉も紅葉の葉の如くに分れてゐるので。それで八ツ手といふのですね。紅葉の葉はいくつに分れてゐるでせうか、また八ツ手の葉はいくつ手があるでせうか。

46、蜜柑はどうして酸いか

蜜柑の中には甘いものもあります。蜜柑は青い中は大變酸いのですが、よく熟するに甘くなります。それは蜜柑が青い中には酸い汁が多く含まれてゐるからです。蜜柑はか

りでなく梅でも桃でもまた葡萄なども皆な青くて熟しない中には酸いのです。

47、どうして葉は青いのか

葉の中には青い汁が入つてゐるからです。葉は青いので葉のはたらきが出来るのです。

48、花や葉は切つても痛くないのか

花や葉は切つても痛くないのです。それは人間や動物のやうに痛みかかかゆいさかいふこゝを感ずる神経がないからです。しかして花でも葉でも切るさもさの方から水分が來ませんから萎れて枯れてしまひます。痛くないから切つて花や葉を切るこゝはあまりしないがよいのです。

49、なぜ木の葉が散るのか

木の葉が秋になつてそのはたらきが出來なくなるに散るのです。普通の木の葉は秋散るのですが、秋になつても散らない木の葉があります。そんな木の葉ですか。秋散る木の葉は秋散らない木の葉はみんなこゝちがらがつてゐますか、氣をつけて御覽なさい。また秋散らない木の葉でも何時か散るさきがありますか、さうですか。

50、なぜいろ〜のお花の色があるか

朝顔の花にはいろ〜の色があります。菊の花にもいろ〜の色があります。ダリヤやでもいろ〜の色の花がさきます。しかしタンポポの花は黄色か白色、すみれの花は

すみれ色、ひまわりは黄色、きうりの花は黄色、ききやうの花は紫色ミ、ちやんミ定つた色の花もありませう。しかし何ぜであるかいろく／＼の色の花が咲くのか、その理窟は中々分りません。

51、秋になるとなぜ紅葉するのか

葉の中に含まれてゐた青い汁が赤い汁に變化するから紅葉するので。秋になつて葉がそのはたらきを失くなり、莖の方から水分が來なくなるミ紅葉したり黄葉して散るのであります。

52、なぜ渋い柿があるのか

ぎんな柿の實でも青い中には柿渋が澤山含まれてゐるから皆渋いのです。しかしぎの柿でも十分熟するミ渋が變化して甘くなります。甘柿は早く甘くなりますが、渋柿ミいはれる方はおそくまで渋いのです。それでもさわすミ渋がぬけて甘くなります。その渋をぬくのにごうするか知つてゐますか。

53、なぜ飛行機はとべるのか

飛行機がとべるにはプロペラがまはらねばなりません。プロペラをまはすには發動機を動かすのです。發動機の方でプロペラを廻轉するミ飛行機がとぶこゝが出来ます。お分りになりますか。それで玩具の飛行機では發動機の代りにゴム紐をねぢつて置きます。そしてはなすミゴムのより

がもぐる力でプロペラが廻轉して飛行機がとぶのです。やつて御覽なさい。

54、汽車や電車はどうして走るのか

汽車には汽罐車があつて引つばるから走るこゝが出来ます。電車では電氣の力でモーターを廻すので走るこゝが出来ます。汽車の汽罐車はぎんなになつてゐますか。電車ミ汽車ミぎんなに違ひますか。

55、レールはどうしてあるのか

自動車でも自轉車でも普通の道路を走りますが、汽車や電車はレールの上を走るやうに出来てゐます。それで汽車の走る道にはレールが敷いてあります。電車の走るこゝろにもレールが敷いてあるのです。電車ミバスミぎんなに違つてゐますか。氣をつけてくらべて御覽なさい。

56、なぜ赤ちゃんは手を握つてゐるのか

生れて間もない赤ちゃんはまだ自分でいろく／＼のものをつかむこゝを知りませんし、また出来ません。若し手を開いてゐるミ著物なごに引かゝつてあぶないので、ひこりて握つてゐるから指を折るやうなこゝがないわけです。しかし赤ちゃんはあぶないミ思つて握つてゐるのではありません。赤ちゃんに聞いても赤ちゃんは返事も出来ませんでせう、またさうして手を握つてゐるか赤ちゃんには無論分りませんよ。

57、なぜ人間の目や耳は見えたり聞えたりするか

なぜ人間の目や耳は見えたり聞えたりするか、理窟をこねてはいけません。目が見えなかつたり耳が聞えなかつたらぎんなに困るこでせう。目はよく見えるやうに出来て居り、耳は聞えるやうに誠にうまく出来てゐるのです。目はぎんになつてゐますか。耳はぎんになつてゐますか。

58、きずは水だとしみるがお湯だとなぜしみないか

きずは冷い水だとしみます。なまぬるい水ならば左程にしみません。お湯だとしみませんが、同じお湯でも熱いしみます。それで體温に近いときは水でもお湯でもあまりしみません。たゞの水よりも石鹼水とかアルコールである大變にしみます。しみるこいふのはきづのころを刺戟するから神經に感ずるのです。お分りになりますか。

59、男になぜお乳があるか

男の乳房からはお乳が出ないから小さいのです。子供のときは女でもお乳が出ないので乳房は小さいのです。女の大人でも赤ちやんを産まない人はお乳が出ませんから小さいのです。お乳を出さない男には乳房は要らないわけですが、自然に男でも女でも凡て乳房があるので。そしてお乳を出さねばならぬ女の人、特に赤ちやんを産んだときにはお乳を出さねばならぬから大きくなるのです。

60、赤ちやんはなぜお腹にゐるのか

赤ちやんは母親のお腹の中に入れてだん／＼に大きくなるのです。お腹の中にあるないで大きくなるこが出来ないので。

61、人間はどうして御飯を食べなければいけないのか

病氣でもして御飯なりパンなりたべものをとらないと力がなくなりませう。そして瘠せておしまひには死んでしまひませう。人間はたべものをたべるから成長するこも出来、働くこも出来るのです。左様に思ひませんか。

62、人間の一番始めは何から出来たのか

人間の一番始めはぎんなものだつたでせうかね。中々よく分りませぬ。昔の昔のその昔のまだ／＼昔の大昔のこでですからね、多分神様であつたのでせうか。

63、おぢいさんおばあさんになつたらなぜ死ぬのか

おぢいさんもおばあさんも年をまつたから死ぬのです。しかし年をまつたおぢいさんで達者な人もあります。またおばあさんで大變なお年でも元氣な方もあります。おぢいさんでもおばあさんでも病氣をするこ死ぬのです。若い人でも病氣をすれば矢張り死ぬのです。